

環境報告書

2012



九州大学病院別府病院

1. 目 次

1.	目次	2
2.	トップメッセージ	3
3.	別府病院概要	4・5
4.	環境安全教育	6
5.	市民公開講座	7
6.	環境月間	8
7.	環境活動	9
8.	エネルギー	10・11・12・13
9.	環境安全	14



2. トップメッセージ

九州大学病院別府病院は昭和6年に九州大学温泉治療学研究所の診療部門として発足し以来80年を経過しました。平成23年度より九州大学病院別府病院と名称を変更し新たに出発しています。当院は優れた環境と伝統を踏まえ、がん、免疫疾患、生活習慣病、脊椎疾患などの疾患を対象として患者さんに優しく侵襲の少ない先進的医療を提供しています。

現在、診療科は従来の内科（リウマチ膠原病、循環器、内分泌・糖尿病、血液、骨粗鬆症、老年病）、外科（消化器がん、乳がんなど）、放射線科（画像診断、放射線治療）、整形外科（脊椎外科）であります。また、本年1月より麻酔科を標榜科として加えました。また、機能障害を有する患者さんには温泉療養を含めたリハビリテーション治療も積極的に行っています。

当院は九州大学病院の理念である「患者さんに満足され、医療人も満足する医療を提供する」の基本に立ち、患者さんとの信頼に基づいた安心できる専門的医療と患者さんの健康の増進のために質の高い医療を提供しています。

さて、地球的規模で深刻な問題となっております地球温暖化解決のため、温室効果ガス削減を目指しています。今や全世界での環境保全は、人類全体で取り組む喫緊の課題であり、本院も率先して取り組む使命をおびていると考えています。

そのため、省エネルギーの推進、省資源化の推進、医療廃棄物及び一般廃棄物の適正管理及びゴミの分別・減量化等々に努めるとともに、全職員挙げて環境に対する問題意識を持ち、研究・診療等の諸活動の中でも環境問題に配慮した活動を心がけ、地域、ひいては地球に貢献してまいります。



九州大学病院別府病院長
牧野直樹

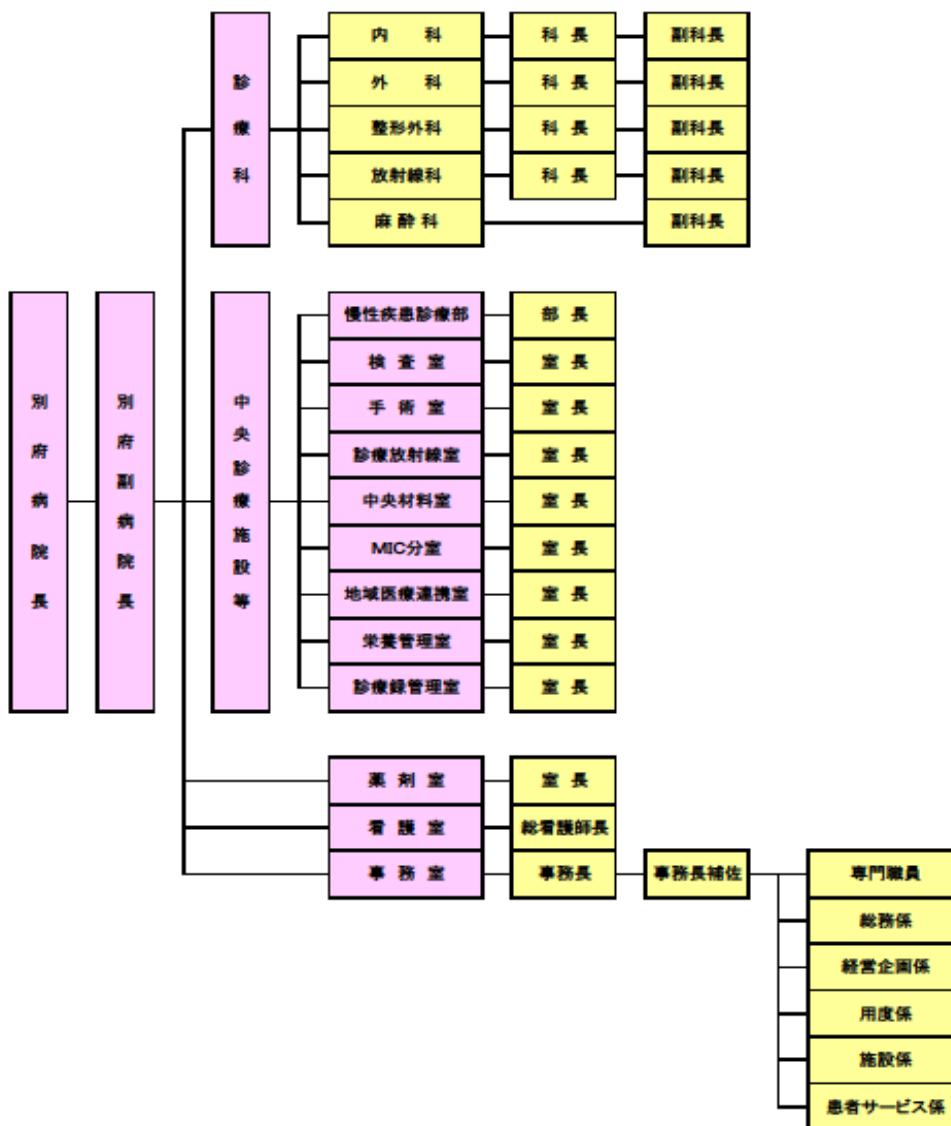
3. 九州大学病院別府病院概要

名 称	九州大学病院別府病院
理 念	患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。
基本方針	◇地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進 ◇プライマリ・ケア診療の充実 ◇全人的医療が可能な医療人の養成 ◇専門医療の高度化を目指した医学研究の推進 ◇国際化の推進 ◇生活の質が向上できる医療の提供
所在地	〒874-0838 大分県別府市大字鶴見字鶴見原4546 TEL 0977-27-1600 (代表) FAX 0977-27-1605 URL http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/
病床数	一般 104床 療養 36床
沿 革	設 立 1931年(昭和6年) 10月 温泉治療学研究所附属病院 改組・統合 1982年(昭和57年) 4月 生体防御医学研究所附属病院 統 合 2003年(平成15年)10月 九州大学病院別府先進医療センター 統 合 2011年(平成23年) 4月 九州大学病院別府病院
構成員	(平成24年4月現在)
教 員	18人
医員・研修医	9人
医療技術関係職員	20人
薬剤関係職員	5人
看護関係職員	62人
事務関係職員	28人
その他職員	9人
合 計	151人

別府病院の組織図

平成24年4月1日現在

1. 組織



4. 環境安全教育

平成24年4月に、九州大学病院からのテレビ中継を使い、転任者及び新規採用者に「新採用者合同研修」等に基づき、医師・看護師・職員が講師となり次のような安全教育を実施しました。

【講義内容】

1. 病院概要
2. 医療情報セキュリティーポリシーについて
3. 就業規則について
4. 医療安全管理について
5. 院内感染について
6. 防災について
7. 薬剤とオーダーの運用について
8. 栄養管理について

新採用者合同研修

平成24年度



九州大学病院
臨床教育研修センター

5. 市民公開講座

本講座は、平成24年3月24日（土曜日）に行いました、運営方法や講演内容等も試行錯誤を重ねながら受講者を増やしています。

これからも見直しを図りながら継続して開催し、より多くの別府市民に本講座を受講していただくことにより、市民の皆様の病気や健康に対する意識の向上に微力ながらも貢献できるよう運営していく所存です。

さくら会 10周年記念
市民公開講座

糖尿病は万病のもと！

講演① **糖尿病とがん**
九州大学病院別府病院 免疫・血液・代謝内科
生山祥一郎 先生

講演② **糖尿病と認知症**
大分大学医学部総合診療部 診療講師
吉岩あおい 先生

開催日時
平成24年3月24日（土）14時～

会場
ビーコンプラザ 小会議室

参加自由です

問い合わせ先 さくら会事務局 今村恵美子 電話：0977-27-1618

共催 さくら会 大分県糖尿病治療研究会 小野薬品工業（株）



市民公開講座の公演中

6. 環 境 月 間

別府病院ではエネルギー使用量の削減の一環として電気量の削減を目的に、夏期の期間において病院内等の節電パトロールを行っています。

期 間： 平成24年7月～9月

場 所： 病院本館、理療棟、研究棟

回 数： 月1回（抜き打ち）

人 数： 事務職員で構成し、3班にて実施

実施方法： 診療及び研究を除く部屋毎に「節電チェックシート」にて節電の取り組み状況を確認する。

九州大学病院別府病院			
節電チェックシート () 回目			
棟名称 () () 階		室名称 ()	
調査日：H24年 () 月 () 日 () 時 () 分から () 時 () 分			
チェック項目	YES	NO	
エアコン			
①室温を冷房は28℃を目安に設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
②不要時は電源を切っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
照明器具			
③昼休みの一斉消灯を実施している。（事務部のみ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
④必要な部分だけ点灯している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
パソコン			
⑤省エネモードに設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑥帰宅時のシャットダウンを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑦待機電力カットを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
プリンタ			
⑧省エネモードに設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑨帰宅時は電源を切っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑩待機電力カットを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
冷蔵庫			
⑪温度を季節によって適切に設定している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
その他機器			
⑫不要時は電源を切っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
⑬待機電力カットを実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
勤務			
⑭早期退勤日を促進している。（事務部のみ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
YESの合計			
YESが12個以上	YESが8～11個	YESが4～7個	YESが3個以下
節電上手	まあまあ	まだまだ	もっと努力

7. 環境活動

(1) 職員による清掃活動

病院内では、環境美化を目的として勤務時間以降に不定期ではありますが、職員（医師・技師・看護師・事務職員）による清掃活動（草取り）など、外来診療棟前ロータリーから正門周辺草取り、構内道路の落ち葉やゴミ拾いなど、環境美化のための活動を行い、梅雨前には建物の屋上樋廻りに溜まっているゴミ等の清掃を行っています。



構内清掃



構内清掃



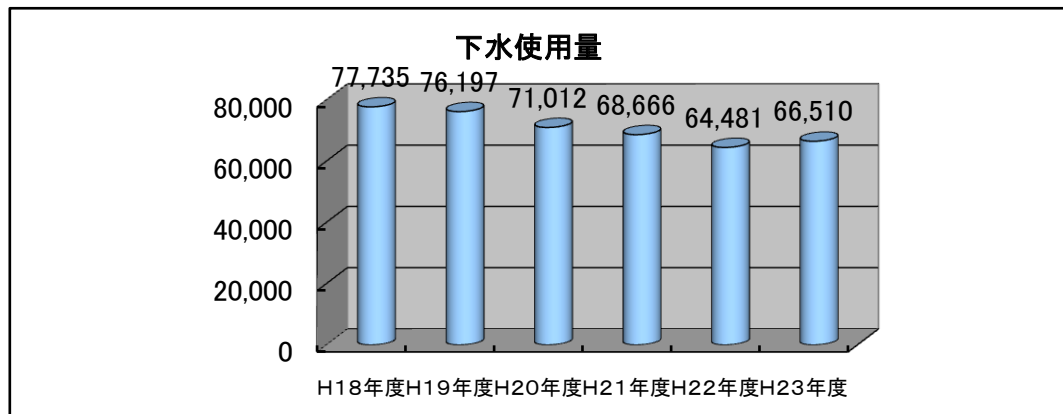
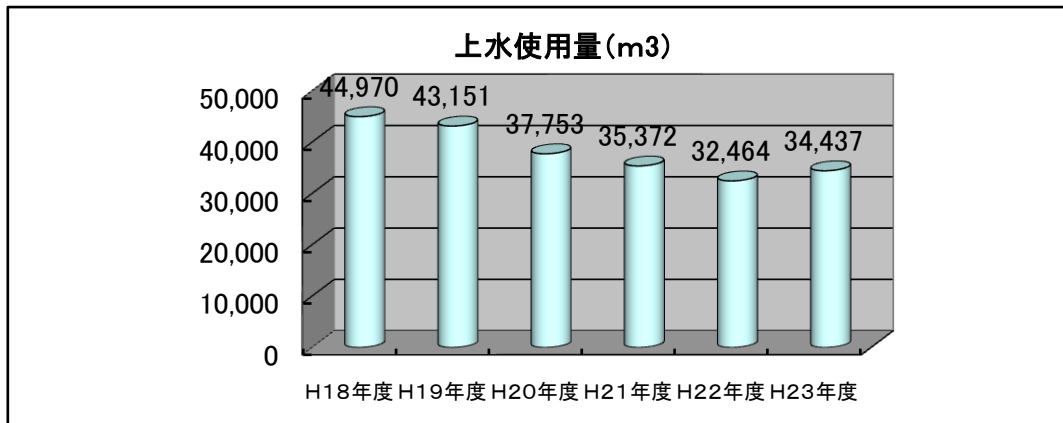
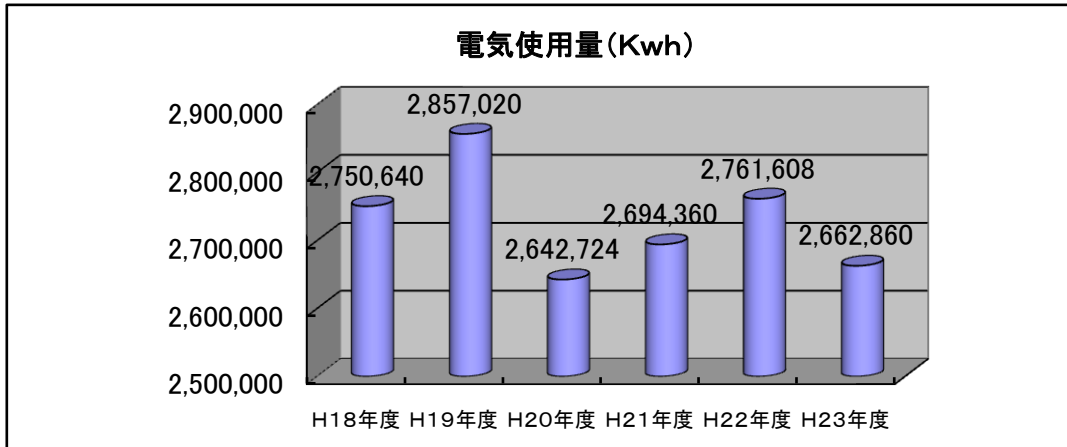
構内清掃

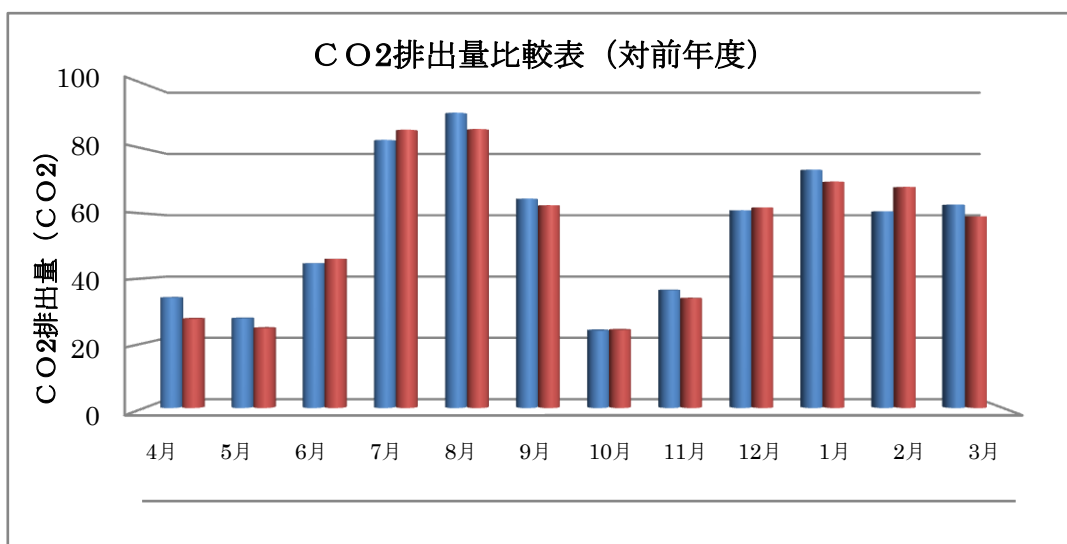
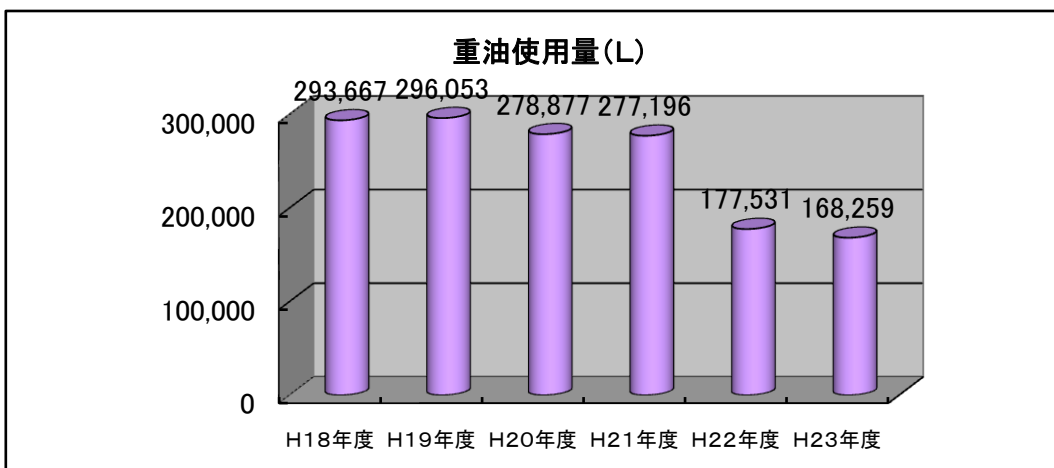
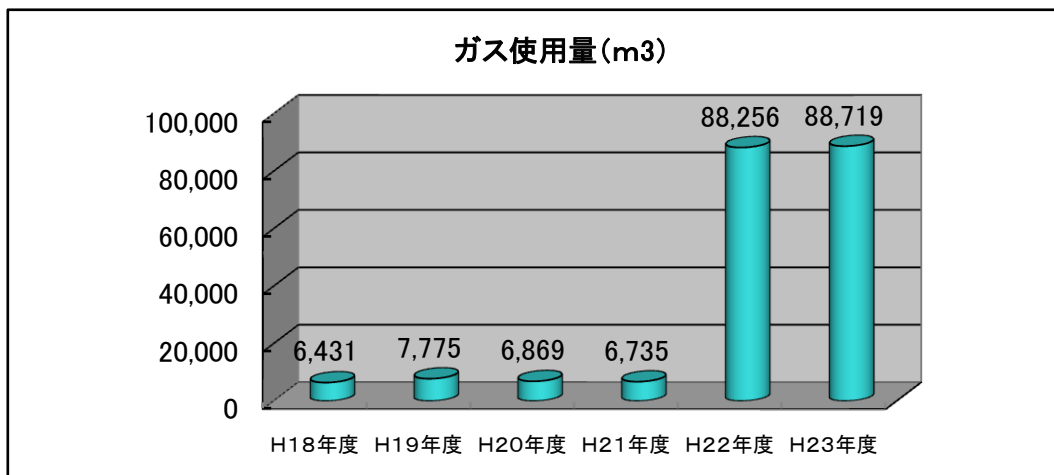


建物屋上清掃

8. エネルギー

別府病院でも、エネルギー管理を行うために下記の表を作成してエネルギーの管理資料としています。





今夏は、九州電力の電力需給状況がきわめて厳しい状況となる見通しであることから需給ひっ迫が想定される、7月2日（月）から9月7日（金）の平日（お盆期間 8/13 から 8/15 を除く）9時から20時において、一昨年の使用最大電力から▲10%程度以上の節電要請が来ている中、計画停電は対象外となりましたが、計画停電の万が一に備えた準備と節電への取り組みにつとめています。

また、九州電力とスポット負荷調整契約を結び調整依頼があれば約15kwの節電を行うよう体制を準備しています。

平成24年6月22日
九州電力株式会社

セーフティネットとしての 計画停電の準備について

— 詳細ご説明資料 —



(目次)

- 1 計画停電の位置づけ
- 2 需給ひっ迫時の対応
- 3 計画停電に関する国の基本的方針
- 4 当社における計画停電の具体的手順
- 5 計画停電に関するお客さまへのお知らせとお問合せ窓口

平成22年度には、病院内主要な機械室の蒸気ヘッダーにバルブジャケットの取付を行うことにより、省エネルギー及びCO₂の削減を行っています。

平成24年度においても、引き続き効率の良いエネルギー使用を行い、前年度比1%のCO₂削減を目指していきます。

バルブジャケット取付前



バルブジャケット取付後



バルブジャケット取付前



バルブジャケット取付後



9. 環 境 安 全

別府病院では、医療廃棄物（感染性・非感染性）及び一般廃棄物（可燃・不燃）を分別して集荷しています。医療用廃棄物については、その取り扱いについて注意する必要があります。医療で使用した針はさらに個別の専用容器に入れて廃棄しています。



専用の分別容器に入れて廃棄を行っている。
左から手指消毒剤容器、非感染性廃棄物、感染性廃棄物×2、可燃



医療で使用した廃棄する針を入れる専用容器



廃棄物置場においても分別して集荷している
左から感染性医療廃棄物、非感染性医療廃棄物、不燃物、可燃物